3113	162	題号不明	茂惠一郎	言語	凍滝の瑠璃光浄土目のあたり	2022	『新版　角川俳句大歳時記　冬』	162	￥43	￥1	￥1	冬
3114	162	題号不明	茂惠一郎	言語	窓に陽の残る頃より薬喰	2005	『二乃座』	166	￥43	￥1	￥1	冬
3115	162	題号不明	茂惠一郎	言語	これは鹿猪よ熊よと薬喰	2005	『二乃座』	167	￥43	￥1	￥1	冬
3116	162	題号不明	茂惠一郎	言語	煮詰まりて平らとなりぬ牡丹鍋	2005	『二乃座』	166	￥43	￥1	￥1	冬
3117	162	題号不明	茂惠一郎	言語	大阪へ来ててつちりを昼間から	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	271	￥43	￥1	￥1	冬
3118	162	題号不明	茂惠一郎	言語	目貼して音なき夜となりにけり	2019	『俳句歳時記　第五版』	798	￥43	￥1	￥1	冬
3119	162	題号不明	茂惠一郎	言語	湯が沸くと子が呼びに来る狩の宿	2005	『二乃座』	95	￥43	￥1	￥1	冬
3120	162	題号不明	茂惠一郎	言語	竹馬の一芸富士を股覗き	2005	『二乃座』	103	￥43	￥1	￥1	冬
3121	162	題号不明	茂惠一郎	言語	蒼然と山の月の出狐啼く	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	471	￥43	￥1	￥1	冬
3122	162	題号不明	茂惠一郎	言語	笹鳴の笹に触れたる音すなり	2005	『二乃座』	92	￥43	￥1	￥1	冬
3123	162	題号不明	茂惠一郎	言語	群千鳥砂丘に出ては翻る	2005	『二乃座』	158	￥43	￥1	￥1	冬
3124	162	題号不明	茂惠一郎	言語	白鳥にとどくは白鳥守の声	2005	『二乃座』	163	￥43	￥1	￥1	冬
3125	162	題号不明	茂惠一郎	言語	白鳥のかなしきまでに穢れなし	2005	『二乃座』	164	￥43	￥1	￥1	冬
3126	162	題号不明	茂惠一郎	言語	凍蝶や吾も庭に出て凍つるなり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	532	￥43	￥1	￥1	冬
3127	162	題号不明	茂惠一郎	言語	月の出に風をさまりぬ冬桜	2008	『俳句歳時記　第四版』	826	￥43	￥1	￥1	冬
3150	164	題号不明	木村淳一郎	言語	火に学ぶごとく焚火を囲みけり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	332	￥43	￥1	￥1	冬
3151	164	題号不明	木村淳一郎	言語	狩の犬入日を狙ふやうに見る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	352	￥43	￥1	￥1	冬
3167	166	題号不明	木津柳芽	言語	銭湯のさらゆひとりに年の暮	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	40	￥43	￥1	￥1	冬
3168	166	題号不明	木津柳芽	言語	むささびの木のたわたわと梅雨の月	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	30	￥43	￥1	￥1	冬
3176	167	題号不明	木暮剛平	言語	年ほどはもう食べられず福の豆	2007	「平成秀句選集」	164	￥43	￥1	￥1	冬
3189	168	題号不明	野崎ゆり香	言語	秩父より風花つれて箒売	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	120	￥43	￥1	￥1	冬
3190	168	題号不明	野崎ゆり香	言語	柊を挿して寒天小屋閉ざす	2008	『俳句歳時記　第四版』	780	￥43	￥1	￥1	冬
3191	168	題号不明	野崎ゆり香	言語	白鳥の一ゆらぎして地に下りぬ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	508	￥43	￥1	￥1	冬
3192	168	題号不明	野崎ゆり香	言語	水仙の切り口に夜の鮮［あたら］しき	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	584	￥43	￥1	￥1	冬
3219	169	題号不明	有働亨	言語	古書市に青春探す小春かな	2007	「平成秀句選集」	112	￥43	￥1	￥1	冬
3220	169	題号不明	有働亨	言語	風の日の雲美しや十二月	2008	『俳句歳時記　第四版』	671	￥43	￥1	￥1	冬
3221	169	題号不明	有働亨	言語	父死して廂の寒さ残しけり	2022	『新版　角川俳句大歳時記　冬』	71	￥43	￥1	￥1	冬
3222	169	題号不明	有働亨	言語	音絶えしこの音が雪降る音か	2012	『覚えておきたい極めつけの名句1000』	261	￥43	￥1	￥1	冬